

事務事業評価シート

平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート						平成 29 年度事後評価・決算		所管課		庶務課		担当班	施設班	
事務事業名		コード	36700 小学校大規模改造事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別 ☒ 主な事業 ☒ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業					
施策体系	基本施策	11	学校教育の充実	根拠法令	学校教育法、小学校設置基準、小学校施設整備指針									
	施策の展開	22	学校施設の充実	戦略事業	120	学校大規模改修事業								
	施策の展開			戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	経年により、発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や改装等の大規模改修及び被災時における防災機能強化の事業を実施することで、教育環境の改善を図り、併せて建物の耐久性の確保を図る。 施設整備計画により、改修が必要とされた小学校施設については、順次、大規模改修工事を行う。また、市内小学校屋内運動場において、防災機能強化事業を行い、非構造部材の耐震化改修工事を実施する。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
学校施設の耐震化率100%を目指し、平成18年度に施設整備計画を策定し、耐震補強工事、改修工事と併行して大規模改修工事を実施。耐震補強については平成19年度に完了。また、平成24年度より、防災機能強化事業として、非構造部材の耐震化工事を実施している。	・国の交付金採択の優先基準が変わってきており、「防災機能強化事業」が最優先とされているが、年々採択が厳しい状況となってきた。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
学校関係者から、老朽化が進んでいるため改修の要望がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)		単位: 千円
1. 委託料	4,050	中央小・鶴巻小・古城小(施工監理)干潟小(設計)
2. 工事請負費	100,116	中央小・鶴巻小・古城小
3. 役務費	0	
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	33,042	学校施設環境改善交付金
2. 都道府県支出金	0	
3. 地方債	29,900	学校教育施設整備事業債
4. その他	14,577	繰越明許繰越金

		単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
事業費	1. 委託料	千円	14,295	11,340	8,295	4,050	8,568
	2. 工事請負費	千円	312,159	119,275	127,461	100,116	49,896
	3. 役務費	千円	0	0	0	0	0
	事業費計 (A)	千円	326,454	130,615	135,756	104,166	58,464
	1. 国庫支出金	千円	95,460	27,531	22,432	33,042	13,756
財源	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円	151,200	56,800	71,400	29,900	40,200
	4. その他	千円	17,191		35,556	14,577	
	5. 一般財源	千円	62,603	46,284	6,368	26,647	4,508

前年度増減理由	事業規模減のため。
---------	-----------

従事職員数	常時	3 人	最大	人	×	日	=	延べ	人
-------	----	-----	----	---	---	---	---	----	---

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

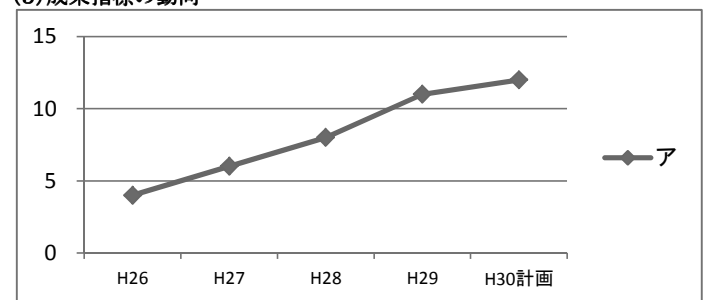
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	29年度実績 (29年度に行った主な活動) 中央小学校屋内運動場防災機能強化工事 鶴巻小学校屋内運動場防災機能強化工事 古城小学校屋内運動場防災機能強化工事 干潟屋内運動場防災機能強化工事実施設計		ア 屋内運動場防災機能強化工事件数	件	2	2	2	3	1
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	対象 ①小学校児童 意図 ②小学校屋内運動場 図 屋内運動場の防災機能が強化されることにより、安全、安心で快適な学習環境が提供される。 対象意図		ア 屋内運動場防災機能強化工事完了済み小学校数 (全15校中)	校	4	6	8	11	12

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
				④
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
②				
③				
④⑤			(8)	
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難									
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)										
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 成果動向	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)				☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下						
	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小				
	未定	干潟小学校屋内運動場防災機能強化工事			H31.6～H31.12	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止					
	H30.5～H30.9	共和小学校屋内運動場防災機能強化工事実施設計業務委託				☐ 見直し ☐ その他()					
	H30.5～H30.9	矢指小学校屋内運動場防災機能強化工事実施設計業務委託				共和小学校屋内運動場防災機能強化工事、矢指小学校					
	H30.5～H30.9	滝郷小学校屋内運動場防災機能強化工事実施設計業務委託				屋内運動場防災機能強化工事 滝郷小学校屋内運動場防災機能強化工事					